



日本水路協会が発行する航海用電子参考図「ニューベック(new pec)」は、プレジャーボートなど小型船舶のユーザーには、すっかりおなじみの存在となった。ウィンドウズパソコンでの運用を前提に開発されたが、詳細で正確なデータ内容は他のデジタルチャートを圧倒するものであり、現在では、日本国内で販売されている各社の航海機器の多くが、マップデータとしてニューベックを採用している。ユーザーがニューベックに対して大きな信頼を寄せ、高く評価している実情があるからにはほかならない。

さらに、2018年3月の「ジャパン インターナショナル ポートショー」では、多くのユーザーが熱望していたモバイル用アプリ「ニューベックスマート」が登場。スマートフォン(iPhone)やタブレット(iPad)でニューベックが使えるよ

うになったとあって、多くの話題を呼んだ。2019年7月には、月額利用料が3,800円から960円にグンと値下げされ、これまで以上に多くのユーザーに利用されている。パソコン、船用機器、そしてモバイル機器と、プラットフォームを選ばずニューベックが使える時代になったわけだ。

さて、そのニューベックスマートだが、基本的にニューベックの機能はそのままに、モバイル用アプリならではの豊富な機能が数多く盛り込まれている。モバイルツールの特性を最大限に生かした、充実のメニューが満載だ。

そんななか、2019年9月末に行われた「ヨコハマフローティングヨットショー」では、来場者を対象にしたセミナーを開催。「チャートアプリ「ニューベックスマート」の活用術」と題す

るもので、すでに実際の航海でニューベックスマートを使い込んでいる人から、これから自分のスマートフォンにアプリをダウンロードしようとしている人まで、たくさんの受講者が集まった。開発者である高澤宏光さん(マップル・オン)と、ヘビーユーザーである田口裕介さんによる、別々の立場からの話は実用性の高い話ばかりで、参加者の皆さんも満足したようである。

そんな有意義な講義の中から、特に「ニューベックスマートならではの機能」についてピックアップ。アプリのデビュー以来、次々と新しい機能が追加されるなど、バージョンアップが重ねられているだけに、いま一度しっかり理解したい。サクサク動く操作性やニューベックそのものの機能は置いておいて、アプリ版ならではの特徴を紹介しよう。

## 実力派チャートアプリはここがキモ！ ニューベックスマート活用法

広がる  
ニューベック  
ファミリー

デジタル化が著しいナビゲーションの世界。マップデータの部分では、ニューベックがスタンダードだろう。パソコン、船用機器、スマートフォンやタブレットと、インターフェースを選ばず使えるようになっている。特にアプリ版は、次々と新機能が追加され進化している。その「ニューベックスマート」を見ていこう。

### ニューベックスマートならではの豊富な機能

- ① 航海計画を簡単に作れる**  
 航海計画の作成も簡単。タップ操作を繰り返し、スタート地点から目的地まで画面上にコースラインを引くことが可能で、ウェイポイント(変針点)の追加も容易だ。目的地やウェイポイントまでの距離や針路も表示されるので便利。作成した航海計画は保存しておくこともできる。
- ② ナビゲーション機能も搭載**  
 洋上ではあくまでも補完的なツールとして活用いただきたいが、マップ上に自船の現在位置を表示し、ナビゲーションにも活用できる。マイポイントを設定しておくことで、現在位置からそこまでの距離や方位に加え、任意に設定した速度による到着予定時間もわかる。
- ③ 航跡を残すことができる**  
 スマートフォンやタブレットにはGPSが搭載されているので、航海中にアプリを起動させれば、オフラインでも航跡(GPSログ)を残しておく。記録はリストで管理することが可能で、メモ書きを加えたり、写真を添付しておくこともできる。現代の最新型ログブックといえよう。
- ④ 『Sガイド』情報も収載**  
 ニューベックスマートは、月額960円で全国版のニューベックデータが利用できるわけだが、パソコン版と同様に『Sガイド』情報も収載されている。小型船舶向けに港湾やマリーナの詳細な情報を示すもので、その数は、全国で1,100以上にも及ぶ。これはありがたい。
- ⑤ 陸上の地図とも連携**  
 アプリ版のニューベックならではの特徴の一つが、陸上の地図情報も同時に表示されること。陸上地図のデータは、デフォルトは昭文社(MAPPLE)の道路地図で、グーグルマップやアップルのマップと連携することも可能だ。このツール1台でいろいろな情報を得られるはず。
- ⑥ AIS情報を同時に表示**  
 一定の基準を満たす大型船舶には搭載が義務付けられているAIS(船舶自動識別装置)。そのAIS情報を、なんとニューベックスマートは画面上に表示できる! 自船位置から最大で半径10海里以内のAIS船舶の動向をつかめ、安全航海の強い味方になるだろう。
- ⑦ 気象・海象情報もこれ1台で**  
 72時間先までの風や波、30日先までの海面水温の予報を、マップ上に重ねてビジュアルに展開。現在地付近、あるいは潮汐観測地点の1時間単位の天気予報も表示できる(海上は3日後、陸上は7日後まで)。スマホやタブレット1台で、オールインクルーシブに使える。
- ⑧ オフラインでも利用可能**  
 モバイルアプリという気になるときの通信量(と料金)。ニューベックスマートは、メッシュ単位で分けられたマップデータをダウンロードすることも可能なので、Wi-Fi環境でダウンロードしておけば問題ない。海上など通信圏外でも、事前にダウンロードしてあればOKだ。
- ⑨ 沿岸小型船舶の備品に認可**  
 海岸から5海里までを航行する「沿岸区域」の小型船舶においては、船舶検査の法定備品として搭載を義務付けられている「海図」の代わりに、ニューベックスマートを利用することが認められている。ニューベックスマートのデータ内容に対する信頼度を裏付ける話だ。

(問) マップル・オン  
http://mapple-on.jp/



航海用電子参考図「new pec」 JHA(一財)日本水路協会  
ニューベックファミリー

